



八嘉小だより

令和3年2月3日
第23号
文責 吉永鈴子

誰にとっても楽しく居心地のよい学級・学校に！

楽しく、居心地のよい学級・学校であることは、私たちが最も大切にしていることです。日頃から、子供たちの学習や休み時間の様子を見守り、気になることがあれば声をかけるようにしています。また、毎月「タマにゃんチェック」というアンケートを実施し、内容を確認して教育相談を実施しています。特に12月は「心のアンケート」、1月は全児童への教育相談を行うことで悩みや困り感の解消に努めているところです。

12月の「心のアンケート」の回答結果を、以下のとおりお知らせします。

学校や自分のことについて

「学校が楽しい」と答えた児童の割合は、100%でした。職員みんなで喜びました。とてもうれしいです。また、「誰かの役に立っている」84.6%、「授業がよく分かる」96.7%、「自信のあることや自慢できることがある」88.6%という結果でした。決して低い数字ではありませんが、「役に立っていない」「授業が分からない」「自信や自慢できることがない」と感じている子供たちのことをしっかり把握して、寄り添い、頑張りを価値づけ、ほめていこうと、職員で話し合いました。



「いじめ」について

今の学年になっていじめられたことがあると答えた子供は、9名でした。仲間外れや強い言葉で思わぬことを言われたことなどです。学級で話し合ったり、お互いの気持ちのすれ違いを担当が説明したりすることで、納得し、全員が「現在いじめは続いている」と回答しています。9名のうち8名が、担任に相談してくれています（1名は、忘れていたそうです）。担任を相談相手として信頼してくれていることを有難く感じています。これからも頼りにしてほしいと思います。また、保護者の皆様からご相談いただいたり、ご協力いただいたりするケースもありました。今後も、子供たちが友達と仲良く学校生活を送ることができるように細やかに連携していきたいと考えています。

情報通信機器の使用について

スマホやゲーム機器など、自分が自由に使うことができる通信機器を持っている子供は全学年の69.4%、高学年では76.2%にもなります。そのような状況の中、「家庭でのルールが『ない』」と答えた子供が36.1%もいました。また、「午後10時から午前5時までは使わない」ということについて、「いつも守れている」は57.4%でした。「全然守れていない」6.6%、「時間の決まりごとはない」13.1%と、心配な数字もありました。この機会に、ぜひ今一度、約束事の確認をお願いします。

社会とは、感じ方や考え方が異なる者が大勢集まって、それぞれの役割を果たしながら全体を機能させていくものです。声の大きい人の一方的な意見ばかりが通っていけば、その他の人に不満が生じてしまいます。子供たちがこれから生きていく社会では、相手を尊重しながら、率直に自己主張する力と、「どちらか一方」ではなくて、「折り返す」または、「複数の意見のよいところを整理して新しい考えを生み出す」力が、今以上に求められます。そのため、学校では、自分の考えを持ち、順序立てて説明したり相手に伝えたりすることや「よく聞く」ことを意識して学習を進めています。

子供たちは、発達の上にあります。だからこそ、大人が物事の見方や考え方を正しく教え、導いていく必要があるのです。お互いが少しずつ譲り合いながら、納得できる解決の仕方を見出すために知恵を絞る姿を、大人が見せることで、子供たちが幸せに生きていく方法を学び取らせたいと思っています。これからも保護者の皆様と共に子供たちの成長を支え、見守っていきたい。それが私たちの願いです。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本校では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、荒尾支援学校などと連携しながら子供たちの困り感の解消に取り組んでいます。何かありましたら、担任または教頭にご連絡ください！

